

研究業績

ラウパッハ スミヤ ヨーク

(2019 年度～2020 年度)

【論文（解説論文・紀要等）】

- ラウパッハ スミヤ ヨーク「シュタットベルケのサステナビリティ戦略と日本への示唆」、『野村サステナビリティクォーターリー』、2021(2-1)、7-17 頁、2021 年 3 月
- ラウパッハ スミヤ ヨーク「ドイツ・シュタットベルケのパブリック・コーポレートガバナンスの実態と課題」、『地方財政』、2021(2)、187-222 頁、2021 年 2 月
- ラウパッハ スミヤ ヨーク「Public Value を織り込む Public Corporate Governance の在り方 — ドイツ・シュタットベルケの事例研究からの考察」、『財政と公共政策』、42(2)、28-42 頁、2020 年 10 月
- ラウパッハ スミヤ ヨーク「独シュタットベルケの公益性をどう担保できるか？ ～公共価値を織り込むガバナンスの可能性を探る」 『京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座』 コラム No.(196)、2020 年 7 月
http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/stage2/contents/column0196.html
- Raupach-Sumiya, J. (2020), “Integrating public value into public corporate governance - Observations from German ‘Stadtwerke’”, International Journal of Business Management and Administration, 6(1), 2020/5, pp.1-6
[http://academeresearchjournals.org/journal/ijbma/archive/may-2020-vol.-6\(1\)](http://academeresearchjournals.org/journal/ijbma/archive/may-2020-vol.-6(1))
- ラウパッハ スミヤ ヨーク「Public Value を織り込む Public Corporate Governance の在り方 — ドイツ・シュタットベルケの事例研究からの考察 —」 京都大学大学院経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座 ディスカッションペーパー No. 5、2019 年 10 月
- ラウパッハ スミヤ ヨーク・小川祐貴「再生可能エネルギーの地域付加価値分析 — 長野県を対象としたケーススタディ」 諸富徹 編著『入門 地域付加価値創造分析』日本評論社、86-97 頁、2019 年 4 月
<https://www.nippyco.co.jp/shop/book/7971.html>
- ラウパッハ スミヤ ヨーク・小川祐貴「再エネの地域付加価値創造分析を自治体レベルで活用する — 日本でのケーススタディからの示唆」 諸富徹 編著『入門 地域付加価値創造分析』日本評論社、99-120 頁、2019 年 4 月
<https://www.nippyco.co.jp/shop/book/7971.html>

【学会発表】

- ラウパッハ スミヤ ヨーク「組織の社会貢献を評価することの課題」、京都大学大学院 経済学研究科 再生可能エネルギー経済講座、日独共同シンポジウム、2020年2月24日
- ラウパッハ スミヤ ヨーク「Public Value を織り込む Public Corporate Governance の在り方 —ドイツ・シュタットベルケの事例研究からの考察」日本地方財政学会 27回大会、新潟市、2019年6月

【講演】

- Raupach-Sumiya, J., “Strategic Initiatives for Achieving SDGs: Local Governments, Business and the Financial World”, GEA International Conference 2020, 2020/12/15
- ラウパッハ スミヤ ヨーク「再生可能エネルギーと地域循環型経済の形成 — ドイツのシュタットベルケの経験に学ぶ」、第8回適正技術フォーラム 2020年11月7日
- ラウパッハ スミヤ ヨーク「ドイツの自治体におけるシュタットベルケの役割」、EY 新日本有限責任監査法人研究会、2020年5月28日
- ラウパッハ スミヤ ヨーク「ドイツシュタットベルケのガバナンスを踏まえた日本版シュタットベルケの在り方—経営状況、公営企業統治、公益価値」株式会社日本計画研究所セミナー14399、2019年6月7日